

2022年9月30日

各位

株式会社三井住友銀行

太平電業株式会社に「ESG/SDGs評価シンジケーション」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取CEO：高島 誠）は、太平電業株式会社（代表取締役社長：野尻 穰）に対し、「ESG/SDGs評価シンジケーション」を実施いたしました。

「ESG/SDGs評価シンジケーション」は、株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）と弊行が作成した基準に基づき、ESG（※1）側面の取組や情報開示、SDGs（※2）（持続可能な開発目標）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例等を還元させていただく融資商品です。

今回対象となりました太平電業株式会社は、企業経営において、一定のESG配慮及びSDGs達成に向けた取り組みと情報開示を実施されていると評価されました。

ESG配慮への取り組み及び情報開示においては、以下の点等が評価されました。

- ① 経営トップが、コーポレートガバナンスの強化、気候変動関連情報の開示、ESGの取り組みの強化、2050年のカーボンニュートラルに事業を通じて貢献していくことを宣言しており、実際に取締役会の体制強化や指名・報酬委員会の設置を進めている点
- ② 環境配慮型製品・サービスについて、「太平ロードマップ」（2022年3月期決算説明資料）にて「カーボンニュートラルに根ざした工事戦略」を掲げるほか、西風新都バイオマス発電所にCO2回収装置を設置し、敷地内に建設した農業ハウスに回収したCO2を供給することで、カーボンネガティブの仕組みの確立を目指している点
- ③ 従業員の労働安全衛生や働き方改革、ダイバーシティ推進の取り組みを進めており、定量目標の設定も行っている点、また、全国各地でプラントの建設・補修に関わっていることから、各地域で大規模災害・事故等が発生した際には、復旧・復興を支える活動に積極的に取り組んでいる点

加えて、事業を通じて、SDGsが示す「目標7：クリーンエネルギー」、「目標13：気候変動に具体的な対策を」等に貢献されています。

三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会および市場の形成に一層貢献を行ってまいります。

<西風新都バイオマス発電所におけるカーボンネガティブへの取り組み>



西風新都バイオマス発電所

CO₂回収装置

農業ハウス

<ご参考>

※1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

※2 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上